

平成21年4月7日、

プロジェクト報告書

団体名

特定非営利活動法人

国分寺市にふるさとをつくる会

1. プロジェクト名

のびのび森の自然塾

2. プロジェクトの目的とその背景

- (1) 野川の源流である通称X山は、住宅街に囲まれ、昔から子どもたちに親しまれる清々しい森、その森のなかで、自然とのふれあいや人々のふれあいから、信頼関係の構築をめざします。
- (2) 自然とのふれあいからは、感性を豊かにすること、自然生態系が貴重なこと、自然が人類の生存のためにも貴重であることを発信します。
- (3) 自然が多いことは、危険も多大です。プロジェクトには、ひとりでも多くの指導員としての参加を図り、連帯・会話・森の中の安全をめざします。

3. プロジェクトの内容

- (1) プロジェクトは「のびのび自然塾」と題し、総称を「森の自然塾」と略し、多摩地域の小学生を対象に自然とのふれあい、そして感動と自然の理解、人とのふれあいに喜びをめざしました。
- (2) 「森の自然塾」は毎月4塾を実施し、塾の特徴を固有名にして毎月第3土曜日の「森のふしぎ塾」は、11回が開催され1年間に120名の子ども出席を得ました。第2日曜日の探検塾は10回の開催に263名出席。第3日曜日の冒険塾は10回の開催に297名の出席。第4日曜日の森の遊び方教室は10回の開催で、236名の出席数でした。子ども総数は916名に達しました。自然塾の開催数は、41回開催することができました。

4、プロジェクト実施にあたって工夫とその効果

- (1) 子ども同志や大人との会話の大切なこともめざし、ゲームやクラフトでも保護者の参加を属したところ、一体になった活動となりました。森のクラフトでは、道具の共有や人を思いやる気持ちの育成に効果を感じています。
- (2) 塾の内容は、植物を主体にした「自然」のふれあいから、「自然界に気づくこと」をめざしました。このことは、小学生に難しいかなとも思いながらも、「森の自然」に人との関わりと、遊びを含めるで親しめることができました。
- (3) 特に「木のぼり」など、塾に参加する子どもたちは「いきいき」とし、自信を持つと共に、親子の虐待防止や母子家庭の支援、一人っ子のよりどころ場としても様々な効果を感じました。

5、全体的な所感、終了しての感想

- (1) 開催地X山は、野川源流の森で約15000m²に動植物が多種多様、希少種も存在する多摩地域で貴重な森が、行政先頭で公園化による破壊は残念でなりません。森の生命が尊いこと、種の保存の意義、X山の生物多様性を伝えていく足下からの破壊に心と教材地としても嘆かわしく思っています。
- (2) 僅かに残された武蔵野の動植物は貴重なことを、子どもたちに伝えながら、足下の教材や遊び場の減少に止めきれない空しさと、対処に限界を感じながら、対行政対応に抜けきれない市民との狭間で苦慮します。
- (3) それらの減少した遊び場や観察地の現状を行政に対しは、粘り強く、考えられる手段で訴えている状況ながら、当支援と国分寺市教育委員会が「森の自然塾」の後援、かつ、子どもたちが多数参加することで救われています。

6、参考資料

(参考資料あり)

- (1) チラシ・・・「平成20年度森の自然塾開催」
- (2) 活動風景の写真
- (3) 事業実績報告書
- (4) 平成21年3月27日付け、東京新聞「自然林を次代に残す」

新聞

「心のふるさと」残したい

NPOのエックス山で指導者養成講座など

国分寺市西恋ヶ窪3の通称エックス山(約1万5000平方メートル)の豊かな生態系を維持し、子どもたちの「心のふるさと」にふさわしい自然環境を残したい。01年結成のNPO法人「国分寺市ふるさとをつくる会」(前島征武理事長)は月1回ずつ、森の教室指導者養成講座や森の遊び方塾など5事業を開催。さらに歴史散策といった随時の行事も手がけている。

【斉藤三奈子】

豊かな生態系維持を

66歳の前島さんは、昭和40年代に長野県から国分寺に引っ越してきた。古里の信州に似た土地柄に親しみを覚えた。00年から仲間と「つくる会」を始めた。翌年にNPO法人化。活動の幅を広げた。

14日、年明け最初の指導者養成講座が開かれ、多摩地域はもとより練馬区、江戸川区な



源原さん(右端)の話聞く受講者たち—国分寺市のエックス山で

林で、シイタケ栽培のほた木や薪炭に適さない常緑樹、ササは刈り取っていた」と説明し、森であってほしい」と訴えた。

実習を終えた源原さんはエックス山の広さを管理する市は、昭和20〜30年代の雑木林をこれだけ大きな森は珍

また10〜20年ごとの定期的な伐採が予定されており、繰り返すと樹種が偏るといふ。前島さんはセンダンやカラスウリなどが一緒に除伐されないかと心配する。「日常の生活の中で草木に親しみながら名前のいわれを親子で語り合えば、豊かな心がはぐくまれる。人がへびやスズメバチもいる自然と共存できる社会を目指したい」と話した。

下草やツル植物の除去を進めている。前島さんによると、下草を刈り取ったことで見通しが良くなり、キンランやサイハイランなど希少な野草の盗掘が目立つようになったという。「これでは子どもたちが大好きな秘密基地作りもできない」と顔を曇らせる。

多摩の景色眺め一杯

3月14日「東京地酒列車」

都酒造組合

日本酒の魅力を知ってもらうべく、都酒造組合(立川市)は酒造メーカーが製造した300銘柄の地酒2

本が配られる。日本酒にちなんだグッズが当たる抽選会もある。酒造組合の岩田茂事務局長は「東京の地酒はレベルが高い。おいしさ

を知ってもらえれば」と話す。

午後4時出発。吟醸酒1本のお土産付きで1人3500円。20歳以上の2〜6人

単位で申し込む。往復はがきで〒190-0022立川市錦町1-1の23 東京都酒造組合「東京地酒列車2009」係へ。今

月31日消印有効。問い合わせは酒造組合(042-524-3003)。

【山本将克】

昔からの風景楽しみ散策を フットパス協、来月7日設立 町田市などガイドマップも販売へ

森林や古い町並みなど地域に昔から残る風景を楽しみながら散策できる道「フットパス」の整備を進めようと、「日本フットパス協会」が7月7日に設立される。発起人の町田市などが19日、発表した。

東久留米の運送業者を事業停止 関東運輸局が処分 国土交通省関東運輸局は19日、運送業「清興運輸倉庫」(東久留

米市)を運送事業法に業停止処分表した。対日高営業所(高市)で、からの営業

国内では、町緑地保全をすすめる「みどりPO法人」が10年前から

いという。

【山本将克】

金トラブルご相談下さい
目録無料・費用分割可
ひ他の手続き/不動産登記/任意整理など
1件140万以下の民事に限りです
まずはお電話を！
03-5335-6450



森の自然塾

第6回

冒険塾

森の宝さがしと
森のぼうし

秋20年5月18日



第13回

森のふしぎ塾

秋20年7月19日

X山の自然観察

「ハツパヒ

身ゆび」



第14回

冒険塾

秋20年7月20日

野鳥観察